

所長就任にあたって

東京都環境科学研究所 所長 柿沼 潤一

去る7月に、所長に就任いたしました。

本研究所は、前身である東京都公害研究所の時代から数えて、40余年の歴史を歩んできました。この間、東京の大気や水質などの環境は大きく改善が進んでいますが、本研究所もこれに少なからず貢献してきました。最近の例では、ディーゼル車排ガス中の粒子状物質規制の導入に至る際の技術実証などがあります。

しかし、光化学オキシダントによる大気汚染などのように、原因が十分解明されておらず、今後改善が必要な残された環境問題がある一方、都市の発展に伴う都市気象の緩和や廃電子機器からの希少金属回収など新たに取り組むべき課題もあります。

こうした諸課題に対し、これまでの研究活動で培った知見や技術、研究施設など、有形無形の資源を活用し、今後も、東京の環境改善や環境施策の推進に役立つ科学的根拠を的確に提供していくことができる、よりよい研究所を目指していきたいと考えています。よろしくお願い致します。

C O N T E N T S

所長就任にあたって	1
平成22年度研究テーマ	2
外部研究評価委員会	2
調査研究の紹介	3
「都内河川の大腸菌群数に関する研究 —多摩川、江戸川等の調査から—」	3
「東京における温暖化とゲリラ豪雨等 局地的極端現象との関係解析に関する研究」	4
「有機フッ素化合物の環境負荷メカニズムの 解明とその排出抑制に関する技術開発」	4
区市等担当者への技術支援 —悪臭の測定・評価に関する実務説明会—	5
所長退任にあたって —研究所長8年間をふりかえり—	6
施設公開を実施しました！	7
中学生・学校教員職場体験の受入れ	7
お知らせ 平成23年1月21日(金)公開研究発表会のお知らせ	8
資料室だより	8